

【きれいな掘割】

福岡県

久留米信愛中学校

二年 今村 充輝

私の母が働いている福岡県柳川市には、掘割が広がっている。掘割にはゴミ一つなく、流れる水はきれいだ。私も幼い頃、母に連れられてよく柳川に行き、そのきれいな掘割を何度も見てきた。しかしまだ幼かった私は、それが掘割とは知らずに「ちいさくて、きれいな川だな。」と何気なく見ていた。

小学四年生の時、学校の社会科で、柳川の掘割についての学習があった。私は、何度も見たことがあり、自分にとってなじみのある掘割についての学習だったので、少しワクワクしながら授業を受けた。

学習が進むごとに私は、掘割は柳川市街だけでなくその周辺にも広がっていること、掘割は川下りなどの観光に使われていること、掘割の水は農業にも使われていること、掘割は大雨の時に雨水をためて洪水を防ぐ働きもあることなど、今まで知らなかった柳川の掘割のことについて知ることができた。

そしてこの学習の終盤、柳川の掘割の歴史についての授業があった。そこで、昔の写真を見た私は、あぜんとした。その写真には、水は汚く、水面が見えなくなるほどたくさんのゴミが埋め尽くされていて、とても柳川の掘割とは思えない掘割が写っていた。「これが本当に柳川の掘割なの。今の水がきれいで、ゴミ一つない掘割と全然違う。」私はそう思った。教科書を読むと、昔の掘割はきれいだったが、高度経済成長期になり生活が豊かになると、掘割は生活排水を流す水路となり、どんどん汚くなっていったそうだ。昔からずっと今のようなきれいな掘割が続いていると思っていた私は、さらに衝撃を受けた。また同時に、昔の汚い掘割から、どのようにして、今のようないきれいな掘割にしていたのだろうと思った。

さらに読み進めていくと、そんな汚くなった掘割を埋め立ててしまおうという動きも出てきたが、ある市役所職員を中心に市民らが協力して掘割の清掃活動を行い、今のようないきれいな掘割一つなく、流れる水のきれいな柳川の掘割を

つくっていったそうだ。私は、「この人たちが協力して掘割の清掃活動を行い、掘割を守ろうとしたおかげで、柳川のきれいな掘割は、今も残っているんだ。もし、この人たちが掘割を守ろうとしなければ、柳川の掘割は無くなっていたかもしれない。」と思った。

この学習の後、私は掘割に対する見方が変わった。今までは、柳川にきれいな掘割があるのは、当たり前と思っていた。しかし今では、柳川の流れる水がきれいで、ゴミ一つないきれいな掘割は、たくさんの人々のおかげで守られているのだと思うようになった。

そしてその後、私は母とともに、掘割周辺の清掃活動に参加した。きてみると、百人近くの人たちが集まっていて、「こんなにたくさんの人たちが、柳川のきれいな掘割を守ろうとしているんだ。」とびっくりした。清掃活動が始まると、その人たちは、掘割周辺の雑草を抜いたり、ゴミを拾ったりした。私は、その時まだ小学生だったので、抜かれた草やゴミなどを袋に入れるなどしかできず、あまり役に立つことはできなかった。しかし、少しでも柳川のきれいな掘割を守る活動に関われて、よかったと思う。

たくさんの人々によって守られてきた、きれいな水の流れる、ゴミ一つないきれいな柳川の掘割。そんな掘割がいつまでも続いてほしい。